

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

平成30年11月14日 評価委員会開催
平成30年11月26日 評価結果を決定

(2) 評価の方法

施設管理者及び指定管理者で構成した評価委員会により評価を行った。

【整備目標】

・競技施設の耐震化率100%

【整備後目標】

・年間利用者数による評価:目標900人/年(H28年間利用者数803人)

・競技人口の拡大、競技力の向上を目的として、全国大会レベルの競技会の誘致

4. 総合的な所見

施設整備計画の目標は達成できた。

三重県営ライフル射撃場の利用者数はH30. 10月末時点で1,260人となり、目標の年間利用者数(900人)を大幅に上回る見込みであり、耐震化・バリアフリー化による安全性・利便性の向上及び第2種公認の取得が施設利用の促進に繋がったと考えられる。

全国大会レベルの競技会の誘致についても、2019年9月21日(土)から9月23日(月・祝)に「東京2020選手選考第1次選考会兼アジア選手権大会選考会」の開催が決定した。今後も、競技人口の拡大、競技力の向上に寄与するため、各種競技会の誘致に努める。

5. 各目標の達成状況

(1) 公立の義務教育諸学校等施設の老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(2) 地震、津波等の災害に備えるための整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

50m射場の耐震化及び10m射場の改修を合わせて実施したことにより、当該施設における競技施設の耐震化率は100%となり、目標を達成した。

(3) 防犯対策など安全性の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

既存施設は、耐震化改修に合わせ取り壊しを完了した。

(様式3)

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業区分	整備方針				事業完了 年月日	(実施しなかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりこわし時期を明記)
			事業単位	建物 区分	構造 区分	全事業期間 (契約～完成)			
三重県営ライフル射撃場	(2)	28	社会体育施設耐震化	-	S	H28.6～H30.1	H30.1.5	H30.1.5とりこわし完了	